

1. 評価結果概要表

作成日 平成21年2月13日

【評価実施概要】

事業所番号	3470204409		
法人名	有限会社 ピースフル		
事業所名	グループ・ホーム すまいる		
所在地 (電話番号)	広島市安佐南区相田5丁目5-9-8 (電話)082-872-3014		
評価機関名	特定非営利活動法人 NPOインタッチサービス広島		
所在地	広島市東区福田1丁目167番地		
訪問調査日	平成21年2月13日	評価確定日	平成21年2月18日

【情報提供票より】(平成20年9月30日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成15年11月1日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	8 人	常勤	4 人, 非常勤 4 人, 常勤換算 5.1 人

(2) 建物概要

建物形態	単独併設	新築改造
建物構造	木造瓦一部カラー鉄板葺造り 2階建ての 1~2階部分	

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	40,000、45,000 円	その他の経費(月額)	20,000 円	
敷金	有() 円	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有() 100,000 円	有りの場合 償却の有無	有() 無	
食材料費	朝食	250 円	昼食	450 円
	夕食	350 円	おやつ	100 円
	または1日当たり 円			

(4) 利用者の概要(1月1日現在)

利用者人数	9 名	男性	4 名	女性	5 名	
要介護1		名	要介護2	4	名	
要介護3	1	名	要介護4	3	名	
要介護5	1	名	要支援2		名	
年齢	平均	80.89 歳	最低	60 歳	最高	93 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	舟木病院、山本歯科
---------	-----------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

学生寮を改造した2階建てのこじんまりとした施設が「普通の家」らしい環境となっており、静かな郊外の住宅団地に位置していることで落ち着いた普通の生活がもたらされている。地域の自治会やボランティアの方々とも交流がさかんで、地域行事へ参加したり、事業所行事に協力をいただいたり、災害時の対応を話し合うなど、助け合いの関係が築かれ、地域密着型サービスを実現している。
職員は利用者の尊厳を守り、利用者は職員を頼りにし、明るい雰囲気と協力関係が築けている。食事の献立作り、食事の準備・片付け、清掃などでもできるところは協力し合い、利用者から教をいただくこともあり、利用者の生活に張り合いや喜びを引き出せる環境を作り出している。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>前回の改善項目は 6.市町村との連携、11.同業者との交流を通じた向上、27.災害対策であった。いずれも前回より改善されているがさらなる取組みを期待したい。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>職員の意見を反映して管理者が自己評価を作成している。言葉の解釈の違いから実施している項目について、実施していないとした自己評価もある。また、自己評価は全職員でもっと話し合うなどして事業所として取り組む姿勢を期待したい。</p>
重点項目②	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>運営推進会議に自治会や地域の民生委員に参加していただいていることがきっかけで町内行事、事業所行事への相互参加・交流が行われ、災害時の協力関係も築いており、運営推進会議が活かされている。</p>
重点項目③	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)</p> <p>日常生活(行事参加や外出など様子)・健康状態(食事や血圧・体温など)・介護計画・連絡事項等の報告書を請求書とともに毎月報告している。 家族との面会時や電話で苦情や相談を受け付け、事業所の運営に反映させている。玄関には御意見箱が設置され、公共第三者機関への連絡先も掲示されている。また重要事項説明書にも明記されている。</p>
重点項目④	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>事業所から町内会、敬老会、盆踊り、清掃など町内の行事に積極的に参加している。また、地域の方が事業所のクリスマス行事に参加したり、地域のボランティアが事業所でコーラスや絵を描く指導をするなど地域との交流をさかんに持っている。</p>

2. 評価結果（詳細）

（ 部分は重点項目です ）

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	住宅団地内の普通の家のように存在し、地域密着のサービスを展開している。その中で自由でありのままに、安心して暮せることを事業所独自の理念として掲げ、サービスに取り組んでいる。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念は玄関の誰でも見える位置に掲げられ、重要事項説明書の1ページめにも理念を掲載している。しかし、職員全員には十分に共有されていない。	○	理念の項目や理念を掲げている意味をもっと職員に浸透させる工夫が望まれる。
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	事業所から町内会、敬老会、盆踊り、清掃など町内の行事に積極的に参加している。また、地域の人が事業所のクリスマス行事に参加したり、地域のボランティアが事業所でコーラスや絵を描く指導をするなど地域との交流をさかんに持っている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	評価の意義はよく理解しており、職員の意見を集約して自己評価も行っている。評価は玄関に誰でも閲覧できるように置かれており、職員も内容を把握している。事業所全体として改善に取り組むまでにはなかなか至っていない。		話し合いを持って、事業所全体として改善に取り組む姿勢が望まれる。
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議に 自治会や地域の民生委員に参加していただいていることがきっかけで 町内行事、事業所行事への相互参加・交流が行われ、災害時の協力関係も築いており、運営推進会議が活かされている。		

NPOインタッチサービス広島

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市主催の連絡会議や勉強会に参加したり、利用者の手続きや相談などで行政とも行き来する機会を設け、サービスに取り組んでいる。		認知症のアドバイザー資格の届出を確認するなどして連携強化をしていく事が望まれる。
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	日常生活(行事参加や外出など様子)・健康状態(食事や血圧・体温など)・介護計画・連絡事項等の報告書を請求書とともに毎月郵送している。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族との面会時や電話で苦情や相談を受け付け、事業所の運営に反映させている。玄関には御意見箱が設置され、公共第三者機関への連絡先も掲示されている。また重要事項説明書にも明記されている。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	離職者に代わる職員を補充した場合は、馴染みの職員が付き添うことで利用者のダメージを防ぐ努力をしている。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修案内の情報は職員にも知らせ、希望者にはできるだけ研修に参加できるように配慮している。職員にはおよそ年2回の研修機会があるが勤務上の都合で参加できない職員もいる。	○	職員のスキルや希望を把握し、育成計画を立て、計画的に研修を受けさせるような工夫が望まれる。
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	同一法人下の3つのグループホームの管理者と会社役員で毎月ミーティングを行って、意見交換を行い、質の向上に取り組んでいる。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居前に事前訪問で利用者の情報収集に努め、入居時には利用者の馴染みのタンス・写真・茶碗・お箸などを持参いただき、入居当初は利用者にしかりとついて対話を重ねるなどの工夫をしている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	洗濯物の取り込みや掃除、買い物、料理の味付け、家庭菜園の手入れなどできることは手伝ってもらったり、教えてもらったり、喜怒哀楽を共にする関係が築けている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々の観察や会話、家族からの意見や生活歴から意向を読み取り、また、日誌に様子を書き留め、希望や意向を把握するように努めている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	毎月、職員のカンファレンスで介護計画の実施状況を話し合い、結果を記録している。カンファレンスの結果と家族の意見を反映した介護計画を毎月作成している。作成した介護計画は毎月家族の同意を得ている。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	毎月介護計画を見直すとともに、体調の急変や家族からの要望があった場合はその都度話し合いを設けて、状況によっては介護計画を変更している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援(事業所及び法人関連事業の多機能性の活用)					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	利用者の要望や状況に応じて、買い物・通院・送迎などに柔軟に対応している。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域支援との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	かかりつけ医の要望があれば継続して受診できるように支援する準備がある。現状は希望がないので全員協力医に診てもらっている。現在は毎月、協力医に往診をしてもらうようになっている。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	入居時に家族・利用者・医師らと話し合いを持って重度化した場合の対応を確認し、関係者でその方針を共有している。重度化した場合は再度話し合いを持って対応を決めている。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	個人情報開示は同意書を取る、個人情報書類はカギのかかるロッカーに保管する、個人情報書類の廃棄はシュレッダーにかける、居室の名札をかけた要望にも応える、誤って居室のドアを開けられないようボカ除けロックを設ける等プライバシー保護に配慮した対応をしている。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	職員は押しつけない介護を念頭に置き、日々の支援にあたっている。利用者のペースや気持ちを汲み取って声かけなどを行っている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	前日や当日、利用者の希望や職員のアイデアで献立を楽しみながら決めている(後からカロリー計算などのフォローしている)。食事の準備も、食事中も、片付けも利用者と職員が一緒になって行い、楽しい会話や笑いを自然に楽しんでいる。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	お風呂は毎日入れるように準備をしている。利用者の希望する時間に入浴してもらい、見守りや介助などの必要な支援を行っている。入浴の記録をつけ、少なくとも週2回は入浴するようにタイミングを見て声かけを行っている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	掃除・洗濯・食事の準備なども できるところは希望で手伝ってもらっている。また、ドライブ、花見、バーベキュー、貼り絵などの催し物で気晴らしや楽しみ事を見出してもらっている。自分で編み物をする利用者もあり、一緒に楽しむなどの支援をしている。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	散歩、買い物、ドライブ、町内行事などできるだけ外出機会を作って、希望に応じて出かけるようにしている。しかし、身体的問題などで希望しない人は外出機会がどうしても少なくなっており、今後の課題ととらえている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中は施錠しないケアを実践している。安全面の配慮からドアの動きでベルがなって職員が気づくような工夫をしている。		
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	職員による救急訓練を年1回、全員の避難訓練を年1回行っている。また、自治会の災害連絡網に連携して万が一の場合は地域からも援助を受けられるように関係を築いている。	○	住宅密集地の中にあって火災リスクを考えると、職員1名の夜間の避難には近所の援助は欠かせないもの。避難訓練にご近所の参加など協力体制を作ることを期待したい。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事の献立は職員や利用者の楽しみややりがいの一つであり、あらかじめ考慮しているとは言えないが、材料やメニューはすべて記録されており、栄養バランスの調整が可能になっている。利用者の食事量、摂取水分も記録しており、水分摂取は1日1リットルを基準に勧めている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	学生寮を改造した2階建てのこじんまりとした施設が「普通の家」らしい環境となっており、さらに静かな住宅団地に位置していることで、落ち着いた普通の生活がもたらされている。リビングなどの共用空間にはレクリエーションで作った塗り絵や写真、折り紙、絵の得意な職員が描いた利用者の似顔絵などが飾られ、適度な採光に、気温も適温に保たれ、生活感のある居心地も良い空間となっている。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者と家族との相談をしながら、家で使用していた物・好きな物を居室に持ち込んでもらい、利用者が居心地よく過ごせる工夫をしている。		

NPOインタッチサービス広島

	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
--	-----	---------------------------------	--------------------	---------------------------------

I 理念の基づく運営

1 理念の共有

1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている。	理念をつくりあげている。		
2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる。	管理者と職員は理念を共有し実践に向けて取り組んでいる		
3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にした理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる。	利用者家族や地域の方々に、理解してもらえるように取り組んでいる。	○	

2 地域との支えあい

4	○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている。	日々の挨拶や、町内行事に出来るだけ参加し、コミュニケーションを図るようにしています。	○	
5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。	地域の行事に出来るだけ参加し交流することに努めている。		

	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。	現在は取り組んでいない。		
3 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる。	外部評価を実施する意味を理解し、評価をして改善するように取り組んでいる。		
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	運営推進会議での報告や意見を、サービス向上に活かせるように努めている。		
9	○市町との連携 事業所は、市町担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町とともにサービスの質の向上に取り組んでいる。	現在は取り組んでいない。		
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している。	学習の機会、勉強会など行っていませんが、ご家族にその都度紹介などをすることがあります。		

	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいき たい内容 (すでに取り組ん でいることも含 む)
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。		
4 理念を実践するための体制				
12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約する際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	重要事項説明書・契約書をもとに十分な説明を行い理解・納得を図っている。		
13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらの運営に反映させている。	苦情相談窓口・意見箱を設け外部へは電話・郵便も自由に利用できるようにしている。		
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている。	月1回、日常生活・健康状態・介護計画・連絡事項等を記した報告をしている。		
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	面会時 電話での苦情 相談など受け付けている。 それを気まずくないような雰囲気作りをしている。		
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	日々話しやすい雰囲気作りを心掛けています。 その都度、または会議にて意見は聞き出来るだけ反映できるように努めています。		

	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている。	利用者や家族の状況変化 要望に柔軟に対応できるように勤務の調整に努めている。		
18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている。	職員の異動等による利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている。		
5 人材の育成と支援				
19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	研修に参加し終了後会議で報告を行っていません。		
20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている。	現在は取り組んでいません。		
21	○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる。	年に数回の食事会等でストレス軽減につながるように努めています。		

	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
--	-----	---------------------------------	--------------------	---------------------------------

22	○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている。	行事、レクリエーションを個人にまかせています。	○	
----	--	-------------------------	---	--

II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応

23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。	契約前になるべく事業所に足を運んで頂くか、無理な方は、電話でのみですが、一方的に話を聞かないように心掛けています。		
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。	ご家族には事業所を見ていただき現在の状況を聞きながら、今後はどうする話しています。		
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	ご本人とご家族の方としっかり話をし、意向と違う場合は、他のサービスを紹介しています。		
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気になら馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している。	入所当初は、しっかりと付き話等聞きながら、徐々に減らしていく等の策はとっています。		

2 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	○本人を共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごし ながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築 いている	職員一同押し付けない介護を念頭におき、日々 過ごしています。		
28	○本人と共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共 にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている。	ご家族には、ご家族の事情を最優先し、一方的 に話さないように心掛けています。		
29	○本人を家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が 築いていけるように支援している。	家族への思い等を伝えて、面会に来ていただ いた際には、職員との時間を作るようにつとめて います。		
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途 切れないよう、支援に努めている。	ご本人様から要望あれば、ご家族にご連絡し相 談し外出が可能 範囲内で対応しています。		
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同 士が関わり合い、支え合えるように努めている。	食堂の席は、なるべく中の良い方を中心に座っ ていただき空いた時間などは、職員も一緒に座 り会話をするようにつとめています。		
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要と する利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切に している。	契約終了後も時々来所される家族の方がおられ ます。		

	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
--	-----	---------------------------------	------------------------	---------------------------------

Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1 一人ひとりの把握

33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日々の会話やご家族からの意見を聞きご本人様が楽しめるように考えています。 実施は、ご本人様に確認を取るか反応を見て決めています。		
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	環境の変化を最小限にし不安軽減のため、入所時には、なるべく普段使用していたものを持って来ていただいています。		
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている。	病歴、生活暦を把握し、毎日のバイタルチェックしています。 個別の記録を記入し把握に努めています。		

2 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し

36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している。	ご本人毎月の会議でカンファレンスしご家族への相談等の意見を聞き介護計画を作成しています。		
37	○状況に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している。	計画実施後は、なにかあれば話し合いを行い状況によっては変更しています。		

	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	日誌 個別記録 介護計画実施表に記入し情報を共有しています。		
3 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている。			
4 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している。	現状そのような要望はないが、あれば検討していきます。	○	
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネージャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている。	入居前のケアマネージャーの方には引き続き支援をお願いしています。 また、必要に応じて相談等しています。		
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している。	地域参加の面では協力していますが、個人のマネジメントの必要性が今現在ないため行っていません。		

	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるよう支援している。	かかりつけ医のご希望があれば継続し受診しています。以外の方は協力病院の方へ受診しています。		
44	○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している。	協力病院の先生共に認知症高齢者の理解があり適切に対応していただいています。		
45	○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。	かかりつけのNS・Drに相談しています。また、訪問看護と契約し週一回のバイタルチェック急変時の対応、相談をお願いしています。		協力病院のDrに月1回の往診をお願いして、健康チェック、相談などを行っています。
46	○早期退院に向けた医療機関と協働 利用者が入院したときに安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している。	基本的には、協力病院に依頼しています。		
47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い全員で方針を共有している。	家族・かかりつけ医・事業所と話し合いをし、その上できめている。		
48	○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医等とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている。	本人様を最優先し決めていきたいと思えます。		

	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
--	-----	---------------------------------	------------------------	---------------------------------

49	○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに勤めている。	家族の同意の下情報を提供し連絡を取り調整している。		
----	---	---------------------------	--	--

IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1 その人らしい暮らしの支援 (1) 一人ひとりの尊重

50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない。	個人情報の同意書を取り対応しています。 個人記録等の目の付かない場所に保管し配慮しています。		
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている。	利用者様第一をモットーに介護職が決め付けず、選択肢のある声かけを心がけています。		
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	ご本人様のペースで、気分を大切に声かけ等おこなっています。		

(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援

	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている。	月に何度か、外出も兼ねて、近くの美容院へ依頼しています。		
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	出来る限り、食べたい物を入居者に聞いたりして献立を立てています。		
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している。	必要に応じてご家族よりお金を預かり、家族 医療的に問題の無い方は、特に制限していません。		
56	○気持よい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している。	トイレ等での自然排便を心掛けています。		
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している。	入居者様の希望される時間に入浴してもらっており、一人で入浴出来る方は、見守りと声掛けを行っています。		
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している。	基本的に自由に過ごしていただいておりますが、表情や体調をみながら、昼寝等を薦める事もあります。		

	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
--	-----	---------------------------------	--------------------	---------------------------------

(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援

59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々の過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている。	生活史、趣味を大切にし個人の活動を中心に取り組んでいます。		
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	日常の金銭管理が出来るようにしています。 家族の許可を頂き一定の金額をホームで預かり買い物時など、そのお金で入居者様に支払ってもらい、おつりをまた預かることにしています。		
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している。	出来る限りは行っていますが、まだまだ十分対応できているとはいえない。	○	
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり支援している。	外出行事等ご家族に連絡をし一緒に行っていただけるように話をしています。 また、墓参り等も個別で行かれています。		
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自ら電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	電話、手紙は実施しています。		

	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している。	時間の制限なくいつでも来ていただけるようにしています。	○	
(4) 安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	基準に則り身体拘束、虐待は行っていません。		
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる。	日中は、基本的に施錠していません。 ただし安全面の配慮から看取りできない時の外出を知る為、玄関に小さなベルを取り付けています。 家族に了解のうえ、プライバシー保護と危険防止のため、居室入口に小さなベルをつけたり、鍵をつけることもあります。		
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している。	職員が一人は、ホール内におり、入居者のそばで記録したり、台所の横のカウンターがあるので常に入居者の状況を見れるようにしています。		
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている。	入所時にご本人と家族の要望を聞き、持ち込んでいただいています。		
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる。	研修への参加やカンファレンス、申し送りで話し合い取り組んでいます。		

	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	○急変や事故発生の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期期に行っている。	年2回消防訓練、不定期ですが、救命救急の講習を受講しています。		
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身に付け、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている。	地域に対しての働きかけがまだまだ不十分だとも思います。		
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている。	その都度、家族に説明をしています。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている。	体調に異変を感じたら、家族に相談し医療機関の受診、場合によっては救急車での対応をしています。		
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	提携医と相談し服薬の継続・中止追加を相談しきめています。		
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる。	毎日の排便チェックにより判断し運動・薬の服薬・食事の工夫で対応しています。		

	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている。	毎日・毎食後にうがい・口腔ケアを行っています。		
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べれる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	アレルギー、食事・水分量を把握し対応しています。		
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している。 (インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	毎年予防接種を受けています。他の疑いがある場合は、受診検査に行っています。		
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている。	マニュアルにそって、職員全員が気をつけて対応しています。		
<p>2 その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1) 居心地のよい環境づくり</p>				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りが出来るように、玄関や建物周囲の工夫をしている。	玄関周りに極力物を置かないようにしプランターの花等を置き工夫しています。		

	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	リビング等に貼り絵・折り紙・塗り絵・カレンダー作りで季節感を取り入れるようにしています。		
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共有空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	仲の良い人・独りで食べたい人と場所の工夫をして過ごしてもらえるようにしている。		
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	本人・家族と相談しながら家で使用していた物・好きな物を持ち込んでもらい居室で使用するようにしている。		
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている。	共用スペースに温度計・湿度計を置き温度にきおつけています。 朝・夕食後に換気を行っている。		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	手すりの配置、イスの高さ、クッション等を使用し対応しています。		
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している。	全く新しい事をするより、慣れ親しんだ事を中心におこなっています。		

	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるよ うに活かしている。	小さな畑を作ったり・プランターに花を植えたりと体を使 った楽しみ・目で見ると楽しむを出来るように勤めている。		

V サービスの成果に関する項目

88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	① ほぼ全ての利用者の ② ㊦ 利用者の2/3くらいの ③ 利用者の1/3くらいの ④ ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある。	① ㊦ 毎日ある ② 数日に1回程度ある ③ たまにある ④ ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。	① ㊦ ほぼ全ての利用者が ② 利用者の2/3くらいが ③ 利用者の1/3くらいが ④ ほとんど掴んでいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。	① ほぼ全ての利用者が ② 利用者の2/3くらいが ③ ㊦ 利用者の1/3くらいが ④ ほとんど掴んでいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。	① ほぼ全ての利用者の ② ㊦ 利用者の2/3くらいが ③ 利用者の1/3くらいが ④ ほとんど掴んでいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。	① ほぼ全ての利用者が ② ㊦ 利用者の2/3くらいが ③ 利用者の1/3くらいが ④ ほとんど掴んでいない
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。	① ほぼ全ての利用者が ② ㊦ 利用者の2/3くらいが ③ 利用者の1/3くらいが ④ ほとんど掴んでいない

95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。	<input type="radio"/> ① ほぼ全ての家族と <input type="radio"/> ② 家族の2/3くらいと <input checked="" type="radio"/> ③ 家族の1/3くらいと <input type="radio"/> ④ ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。	<input type="radio"/> ① ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ② 数日に1回程度 <input checked="" type="radio"/> ③ たまに <input type="radio"/> ④ ほとんどない
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている。	<input type="radio"/> ① 大いに増えている <input checked="" type="radio"/> ② 少しずつ増えている <input type="radio"/> ③ あまり増えていない <input type="radio"/> ④ 全くいない
98	職員は、生き生きと働いている。	<input type="radio"/> ① <input checked="" type="radio"/> ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ② 職員の2/3くらいが <input type="radio"/> ③ 職員の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/> ① ほぼ全ての利用者が <input checked="" type="radio"/> ② 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> ③ 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ ほとんど掴んでいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/> ① ほぼ全ての家族等が <input checked="" type="radio"/> ② 家族等の2/3くらいの <input type="radio"/> ③ 家族等の1/3くらいの <input type="radio"/> ④ ほとんどできていない

※ は、外部評価との共通項目